

1 指導のねらい

- ・ 条件に合わせて自分の考えを書きまとめる(領域 「書くこと」)

2 学習活動の設定

「主語と述語の関係が整った文を書く」という条件に合わせて書くために、まず、主語と述語の関係が整った文とはどのような文かということを理解する。その後、主語と述語の整った文を作る練習をする。

3 指導の実際(1時間扱い/第1学年対象)

学習活動	指導上の留意点・評価(○印)
1 本時の目標を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主語と述語の関係が整った文を書くことの必要性に気付かせるようにする。
2 指導者が紙切れをつまんで落とすところを観察して、その様子を一文で3例書く。(学習プリント1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「紙切れが」「先生が」「床(机)が」等を主語に、比較的簡単に発想して書く生徒が多いと思われる。発想しにくい生徒には、「紙切れの落下の特徴は」を主語にして書くことも促す。
3 書いた文を交流して、友だちとの共通点や相違点を探す。また、よいと思った友だちの文を書く。(学習プリント1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「○○の□□は」という型の主語をもつ文では述語を「～ことだ」と書き、主語と述語を合わせて整えることが大切であることに気付かせる。 ○主語と述語の関係に着目して、自他の表現の共通点や相違点を二つ以上見付けることができる。〈言語についての知識・理解・技能〉
4 主語と述語の関係が整った文を書く練習をする。(学習プリント2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例題を用いて理解させる。 ・ 分かりやすく、誤りのない文にするためには、「○○の□□は」という主語の場合は「～ことだ」という述語にするという配慮に加え、一文は短く書く方がよいことや、主語と述語の距離は短い方がよいことにも気付かせる。
5 友だちと交流し、気付いたことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間に余裕のあるときには、自分の夢、趣味、好物を挙げ、「私は・・・」「私には・・・」の型で書いた後、「私の夢(趣味/好物)は・・・」の型に書き換えさせる活動を行ってもよい。 ○主語と述語を対応させて、主語または述語を適切に書き換えている。〈言語についての知識・理解・技能〉
6 正解を知り、なぜそうなるのか、自分はどこを間違えたのかを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間に余裕のあるときには、自分の夢、趣味、好物を挙げ、「私は・・・」「私には・・・」の型で書いた後、「私の夢(趣味/好物)は・・・」の型に書き換えさせる活動を行ってもよい。 ○主語と述語を対応させて、主語または述語を適切に書き換えている。〈言語についての知識・理解・技能〉

4 ここがポイント

- ◇ 主部が長くなると述部(語)との関係がとらえにくくなるため、注意が必要なことに気付かせる。
- ◇ 主語と述語の関係を考えるを通して、分かりやすい文を書くことの大切さに気付かせる。

文を三つ、主語を変えて作ってみよう。

1

2

3

※友達ちとの交流の中でよいと思った文を書こう。

次の文を、主語と述語の関係が正しい文になるように書き換えよう。

【例題】この絵の特徴は、どの角度から見ても女性と目が合います。

① 私の夢は、海外で活躍できるデザイナーになりたい。

② この俳句の味わいどころは、誰もが見落としてしまうところに注目しています。

③ 冬の部活動トレーニングは、次の大会の成績を左右するほど重要な部活動です。

④ 今、私たちは全国大会にむけて練習をしていて、三年生にとって最大の目標です。

⑤ 彼女は彼に何をプレゼントするか迷っていましたが、手編みのマフラーでした。

伊吹さんの学級では、新入生に向けて、これからの学校生活の参考となるように「今、夢中になっていること」という題で文章を書くことになりました。次は、【伊吹さんが書いた下書き】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

私は二年生の秋、しばらく部活動に行く気がしませんでした。なぜなら、やさしくしてくださいとくださった三年生の先輩が引退されたあと、上級生として部を引っ張っていく責任の重さがひしひしと感じられ、なかなか気が進まなかったからです。

しかし、そうも言ってはいただけません。これまで、三年生の先輩に甘えていられたことが、それももう終わりです。今こそ、私たちが一年生を指導しながら、一年生と共に技術の上達を目指していくときです。

① **秋の大会の順位は**、春の大会での組み合わせを左右することもあるほど ② **重要な大会です**。 ③ 秋の大会は経験の少ない部員が出るので「新人戦」とも呼ばれる大会ですが、三年生引退後の初めての公式戦なので、新人戦とはいえ、いきなり実力を出し切らねばなりません。

一 「① **秋の大会の順位は**」に合うように、「② **重要な大会です**。」を直して書きなさい。

二 「③ 秋の大会は経験の少ない部員が出るので「新人戦」とも呼ばれる大会ですが、三年生引退後の初めての公式戦なので、新人戦とはいえ、いきなり実力を出し切らねばなりません。」には二つの内容が含まれています。意味は変えずに二つの文に分けて書きなさい。なお、二文めには「出し切らねばなりません」に対応する主語を補いなさい。

出し切らねばなりません。

解答例

一 「秋の大会の順位は」↓(例) 「重要本林森です。」 / 「重要なものです。」 / 「重要な資料となります。」

二 「秋の大会は経験の少ない部員が出るので『新人戦』とも呼ばれる大会です。」

「しかし、(※主語はこの箇所に入れてもよいが、述語に近い方がよりよい) 三年生引退後初めての公式戦なので、新人戦とはいえ、私たちは(類)二年生と一年生は / 試合出場メンバーは) いきなり実力を出し切らねばなりません。」